



能登半島地震からの質問

孤立対策について



河野としのり議員
 今年は、死者4百人、全壊家屋6千棟を超える被害を出した能登半島地震の悲惨な状況が県民、市民にとって心を離れません。インフラでは、道路や水道管などが被害を受け、各地でそれらが寸断され、壊れた家屋からの人命救助に欠かせない重機や復旧に向けても物資が届かず、また地震による海底隆起で港も使えず、海からの救援物資も届かない状態となりました。千葉市は直ぐに職員を派遣されましたが、孤立した災害地の復旧は困難を極めたと思います。千葉市は能登半島と違い孤立の危険は少ないと言われ

河野としのり県議

「能登半島地震をみてからの防災対策」

「エンディングサポート」などについて

神谷千葉市長に聞く！！

ていますが、東京と千葉市の間には東京湾へ流れる河川の橋梁は5本も7本もあるし、地震によって主要道路は交通止めになり救援物資は届かない孤立状態となる危険性はありえると思います。お聞きしたいのは、百年前のマグニチュード7の関東大震災の周期に入っていると言われていますが、自立した避難、救命、復旧などこの能登半島地震から千葉市の防災への教訓、課題などを、どのように考えておられますでしょうか。



能登半島地震時に道路やインフラの水道管などが被害を受ける

神谷千葉市長

今回の能登半島地震は避難生活が長期化し、道路と水道がすぐには復旧せず、エリアによっては孤立する期間が長くなってしまったことが特徴だと思えます。そうした教訓を踏まえ、市としてどう平時から備えていくべきか検討する必要があります。

避難所運営委員会が避難所を立ち上げ、市がサポート

長期避難になった場合に、どうしても地域の皆さんで運営して頂かなければならない部分もあります。市も勿論支援に入りますが、避難所運営委員会が直ぐに避難所を立ち上げて頂いて、そこに市の支援が入り、その後は避難した方によって自立的に運営さ

れて行くことが基本的な考え方としてあります。市としては、その動きをサポートしていくことが大切だと思っています。

今千葉市は、平時からの備えとして避難所運営委員会に必要なものへの経費を補助しています。ほぼすべての避難所に避難所運営委員会が設立（避難所272か所のうち269か所）されており、避難所運営委員会が行う自主的な活動に要する経費に対し、補助金を交付し、避難所運営委員会の体制作り等を支援しています。今年度、補助額を3万円から5万円に増額しています。

町内自治会集会所等を地域避難施設（※）として認定

併せて、実際に過去の災害において、「指定避難所にたどり着くことができない」という声があったことを踏まえ、地域での避難ができるよう、町内自治会集会所等を地域避難施設（※）として認定しています。

※地域避難施設認定制度は、一定の条件のもと、町内自治会集会所等をあらかじめ「地域避難施設」として認定することで、災害時に、「地域の避難先」として、町内自治会等が自主的に開設し、最寄りの指定避難所と連携して避難者の受け入れ等を行うことができるようにする制度



マンホールトイレを全ての小中学校の指定避難所に配備

また、各避難所でのトイレの確保のため、指定避難所となっている小中学校全てにおいて既にマンホールトイレの配備が完了しています。今後、公民館や県立高校などのマンホールトイレの整備を続けていく必要があると考えています。

避難者の密集を防ぐ分散避難を推進

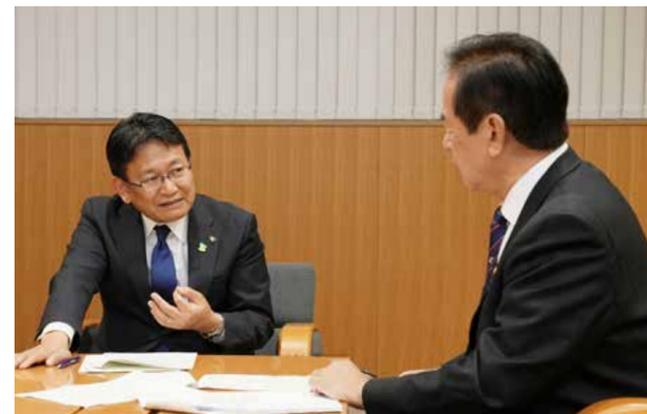
避難所も1カ所にかかりの密度で集まってしまうと、環境も良くないので、分散避難を推進しています。その分散避難も様々な手法がありまして、町内自治会の集会所なども一定の要件をクリアした場合には、地域避難施設として認定し、認定されますと必要な備品を千

初動体制の確保と充実

河野としのり県議



これも、東日本大震災当時の行政の動きを思い出します。地震の初期において、混乱する情報の中、誰が全体の指揮命令をするのか分からず、県の危機管理監は「自分は実動機関の調整、指揮する立場ではない」と堂々といい、それぞれの組織が別々に作業をしており、情報の集約ができて、掘りかねた自衛官が、1月2日の夕方になって、「消防警察、自衛隊、など各機関がひとつの地図の前に集まって、地図を見ながら通れた道路や現場の状況など



河野としのり県議と神谷千葉市長の対談の様子。

わすかな情報でも共有しよう」と、やっと情報の共有が始まったと聞きます。こうしたバラバラな状況は災害時初動に必ず出てくるもので、地方と国が予め体制を築いておく必要があると思います。千葉市は防災危機管理のトップに局長クラスを置いてその辺は認識し進んでいますが、その辺はどのように考えておられるでしょうか。

組織の面で初動対応強化

神谷千葉市長

初動を一刻も早くしていくことは極めて重要だと思っております。ハード面と組織の面を強化してきました。組織は今議員がおっしゃられたように、今まで危機管理監は部長級でしたが、直接私とやりとりして指示ができる役割を担うべく、危機管理監を局長級に上げています。そしてそれを支える組織として、危機管理部を設置しています。



ただ職員は人事異動するものですから、人事異動があった後直ぐに災害が起こると、災害の時に果たすべき役割が各部署もあるのですが、円滑に行えない可能性もあります。そこで、4月の人事異動の直後に、職員に対し、オペレーションの使い方や、災害時に自分が何をしなければいけないのかなど、職員の初動について各自に認識してもらえようという初動対応訓練を大規模に行っています。



災害時、重機とそのオペレーターの確保はどのくらい

河野としのり県議

能登半島地震での救命と復旧活動のために各自自治体もそうですが神谷市長も多くの職員を現地に派遣されていました。罹災証明や、下水道災害復旧等にあたる職員のほか、保健師の派遣など様々なサポートをされてきたと思います。一方、そういった派遣職員が、後ろをふっと振り返ってみると、家屋がほとんど潰れて道路もふさがったままである。やはり先ず必要なのは、ふさがれた道路の様々な土木、壊れて塞いだ家屋、土砂、それらを立ち退けて道を作り、水や食料など救援物資を運ぶための道路を回復させるのが、緊急の救命においても必要だと思います。



域のオペレーターも行政が把握しているのかとか、例えば把握してオペレーターに「ここへ行ってこれ」と頼むにしても、日頃の付き合い次第で、「俺はそんなところへ行かないよ」と言われることもあるのではないかと思う次第です。要するにお聞きしたいのは、東日本の時もそうでしたが、今回も道路が遮断され、港も使えず、救援物資も来ず、とりわけ早急に必要な壊れた家屋からの人命救助に欠かさない重機が届かず、救命や災害復旧は困難となりました。先日の能登半島大雨の時も、重機は無く、人命救助は表面からの掛け声と人力による家屋の外側撤去が続き、時間だけが経って行きました。災害時に使う重機とそのオペレーターは、平時から道が遮断することを想定して地域ごとに確保したり、他地域とも相互に融通使用計画を持つことが必要だと思いますが、千葉市はどのように考えておられるでしょうか。



詳しくは、千葉市ホームページから、
 千葉市HP<市政全般>組織案内<組織から探す>
 <保健福祉局<保健福祉局 医療衛生部 生活衛生課>
 <千葉市平和公園合葬式樹木葬墓地にて検索できます。>

こちらから見れます。

エンディングサポート (終活支援)について



河野としのり県議

多死の時代となりました。日本全国でも150万人、千葉市でも約1万人くらいの方が毎年亡くなられていっています。美浜区でも75歳以上のお一人で住んでおられる方が5千人以上になっていきます。千葉市のエンディング事業にあるように、確かに多くの方が亡くなるまでに、「最後をどうしたいか」という自分の気持ちを誰にも伝えていないまま、認知症等を発症する方もおられるとお聞きします。近年、独り暮らしの高齢者は年々増加し、身寄りのない高齢者等で自らの葬儀やお墓に関して不安を抱える方が増え、エンディングサポートが緊急の課題となっています。お墓をどうするか決める切らず、死後に引き取り手のない「無縁遺骨」も全国で年に5万以上も増え、家族に頼らず自らの死後の弔い方をどう叶えるかが問われています。

ライフスタイルや人生観も変わる中で、それに見合った新しい墓地の供給を進めている

神谷千葉市長

そうですね、高齢の単身の方も増えており、少子高齢化、核家族が進む中で、お墓に対する価値観も変わってきています。今まで通り一般のお墓を好まれる方もいらっしゃいますが、墓地の承継が難しくなったり、子供に負担をかけたくないという方もかなり増えてきておりまして、例えば樹木葬や合葬墓(※)を希望される方が多くいらっしゃいます。千葉市も合葬式の樹木葬墓地を整備させて頂いて頂いております。

合葬式樹木葬墓地を平和公園に3万4千体分を用意

樹木葬は平和公園の中に整備をしまして、令和5年度から供給を開始し、最終的には800体分の焼骨を収める納骨スペースを38基設置する方向で、亡くなった後の心配を少しでも和らげていくような取り組みをさせて頂きたいと思っております。



河野としのり県議

美浜区民は何もない埋め立て地に全国から集まり、日本の高度成長を成し遂げ今15万人の街となっております。一生懸命働いて、そして高齢期を迎え、看取り、そして亡くなる時も、同時に多くの方が同じように進んでいかれます。世代が似通った方が多くおられ、これからは高齢者福祉、介護、看取り、そしてお墓の用意を含めた終活支援、死んだ後の不安なども多くの区民が共有して頂いております。

神谷千葉市長

勿論美浜区民の皆様にも、平和公園と桜木霊園の樹木葬墓地、合葬墓をお申し込みいただけます。ライフスタイルや人生観も変わってきておりまして、それに見合った墓地の供給を市としてもさせて頂きたいと思っております。



神谷千葉市長

そうですね、災害復旧の重機というのは、市役所が直接保有していませんので、どうしても建設業協会などの地元で日常的に重機を業務で使っている団体や事業者との事前の協定が重要だと思います。

千葉市建設業協会と協定を締結し、市の区域を4つに分け、地区ごとに災害時の重機の事業者を予め決めていく

千葉市の場合は千葉市建設業協会と協定を締結し、市の区域を4つに分けて、あらかじめその地区ごとに災害時に重機を提供してくれる事業者を決めています。そしていざ災害が起こったときには、必要な経費など後でお支払いもするので、まず動いて頂きたい、という基本協定を結ばせて頂いています。

また、令和元年台風の問題になったのは、緊急時に病院につながる道路や、木が倒れていた時、誰がどこを担当するのか、また隣接市との境の道路をどちらが担当のかが決まっていなかったことです。

「千葉市道路啓開計画」を作り、事業者との協力体制を整備している

それを事前に「こういう時には千葉市でやる、こういう時にはNTTがやる、こういう状況の時は東京電力がやる、習志野市などと千葉市の境で、こういう木の倒れ方、道路の壊れ方、この状況の時は、千葉市がまとめてやる」というようなことを、責任分界点の境目部分の取り決めが決まっていなくて、直ぐ動けないので、そこは重機を入れるにしても、誰がどこをやるかを事前に決め、関係者と合意ができていくところなんです。

オペレーターについては、建設業協会が重機と一緒に確保して頂いています。事業者が被害を受けてしまうと可能性もあります。

で、1者でなくて複数の事業者と協定を結ぶほか、地区ごとに体制を構築し、地区をまたいだ連絡調整ができるようにしています。

河野としのり県議

千葉市道路啓開計画とは、概略どのような内容でしょうか。

神谷千葉市長

千葉市直下地震を含む大規模災害が発生した際に、負傷者の救助や被災者に緊急物資を届ける緊急車両などが通行するルートを早急に確保するため、道路啓開の作業手順を事前に定め、救命・救援活動を支える緊急輸送体制を早期に確保することができるよう、「千葉市道路啓開計画」を策定しています。

また、千葉市建設業協会との協定では、中央・美浜地区、花見川・稲毛地区、若葉地区及び緑地区の各地区を担当する事業者との協力体制を整備しています。ちなみにその協定は2つありまして、一つは、災害時における応急工事等の協力に関する業務基本協定書、これは道路、河川等の災害応急工事への協力です。もう一つは、災害時応急活動等の協力に関する業務基本協定書、これは消火・救助に係る災害応急活動への協力ということなんです。

河野としのり県議

最後に、能登半島地震での経験を踏まえて、今後の千葉市の取り組みなどについて教えてください。

神谷千葉市長

能登半島地震の災害対応で得た知見や教訓等を計画やマニュアルへ反映し、市の災害対応に活かして参ります。また、機会を捉えて職員への啓発や訓練を行い、職員の防災・減災に対する意識を更に高め、本市の災害対応力の向上を図って参ります。



幕張ベイパーク、イオン前交差点に

横断歩道を増設

河野としのり県議



令和6年6月7日県警に要望する



令和6年9月11日に警察本部から設置するとの回答

この美浜区若葉3-2-16先交差点には、現在横断歩道が3つあるが、丁度ベイパークから駅やイオンのお店に直接行ける横断歩道が無い。多くの方々の住むベイパークの方々にとっていつも2つの横断歩道を回って行くのは不便であり、もう一本の横断歩道を設置して欲しい。

警察本部

河野県議の議員要望に対し、管轄の千葉西警察署が現場を確認してその必要性を認めましたので、設置することとなりました。令和6年度中（令和7年3月31日まで）横断歩道を増設する予定です。



← 海浜幕張駅

イオン店

↑ ここに横断歩道を増設



ここに横断歩道を増設



河野としのりプロフィール

昭和48年 早稲田大学理工学部卒業
50年 早稲田大学大学院修士課程修了
同年 東洋エンジニアリング株式会社入社
平成7年 千葉県議会議員初当選
16年 千葉県監査委員

17年 防災対策委員
20年 民主党千葉県連幹事長
令和5年 千葉県議会議員8期当選
現在 立憲民主党千葉県連合会代表代行

河野としのり事務所

〒261-0013 千葉県美浜区打瀬1-2-2 幕張パークタワー305
TEL. 043-211-0024

